

自分たちのまちは 自分たちでまもる

～自主防災活動事例集～



兵庫県

みんなでみんなのまちをまもろう!!

—ひとりよりみんなでまもれば大きな力—

大災害が発生した場合、公共の防災機関は総力をあげて防災活動に取り組みます。

しかし、阪神・淡路大震災のように、多発する火災をはじめ、電話・電気・水道などのライフラインの途絶や道路・橋梁・建物の損壊などあまりにも多くの災害が同時に発生すると、通常と同じような対応ができなくなります。

そんなときどうすればいいのでしょうか。「自分たちのまちは自分たちでまもる」、つまり自主防災活動しかないのです。しかし各自がバラバラに動いても個人の力には限界があり、かえって危険な場合があります。地域のみなさんが協力しあい、組織的に行動すれば、より大きな力が発揮できます。ここに自主防災組織の必要性和重要性があります。

阪神・淡路大震災では、地域住民の連携・協力による消火や救助といった事例が多くみられ、ある調査では、倒壊した家屋などから救出された人の約8割にも及ぶ人が、家族や地域住民の協力により救出されたということです。

こうした自主防災活動を効果的に行うため、「自分たちのまちは自分たちでまもる」という地域の自主防災活動に積極的に参加し、日頃から災害時の対応に備えましょう。

阪神・淡路大震災を教訓として、地域防災力の中核である自主防災組織の組織化が進み、現在では兵庫県内のほとんどの地域で結成されています。

自主防災活動は、災害が起こったときには互いに助け合える範囲で行い、避難所では避難所生活が助け合える範囲で行うのが望ましいのですが、住民が一つにまとまりやすい範囲で行うのが適当であることから、自主防災組織はすでにある自治会・町内会を母体として結成していることが多いようです。

また、それぞれの地域の特色に合わせて様々な活動も行われています。

この活動事例集は、そうした地域の活動を紹介しています。今後の自主防災活動の参考としていただければ幸いです。

目次



1 いざという時のために

1



2 特色ある自主防災活動

2

1 地域の実情にあわせた実践的な訓練・活動

- 防災避難体験会の実施（神戸市西区・桜が丘^{さくらがおか}防災福祉コミュニティ）—— 2
- 震災時の経験を生かして（西宮市・越木岩^{こしきいわ}自主防災会）—— 4
- 発災対応型防災訓練の実施（西宮市・山口町自治会連合会防災会）—— 6
- 心肺蘇生法の普及（西脇市・高田井町^{たかたの}自主防災会）—— 8

2 幅広い世代の活動参画の取り組み

- 若い世代から高齢者層までの防災意識向上の取り組み
（神戸市東灘区・福池^{ふくいけ}小学校区防災福祉コミュニティ）—— 10
- 防災ジュニアチームの結成
（神戸市中央区・東川崎^{ひがしかわさき}ふれあいのまちづくり協議会防災部会）—— 12
- 共立（ともだち）ネットワークの設立
（神戸市長田区・真陽^{まひよう}地区防災福祉コミュニティ）—— 14



3 地域の中のいろいろな団体との協力

- 地域と学校、事業所が一体となった防災学習の実践
（神戸市兵庫区・明親^{めいしん}校区防災福祉コミュニティ）—— 16
- 幅広い地域活動への取り組み
（神戸市垂水区・高丸^{たかまる}地域防災福祉コミュニティ）—— 18
- 地元事業所との連携（西宮市・西宮市消防協力隊）—— 20
- 防災相互応援協定の締結（宝塚市・安倉^{あぐら}地区福祉エリア）—— 22
- マンションにおける活動（加古川市・加古川グリーンシティ防災会）—— 24
- 消防団との連携（大河内町・自主防災おおかわち）—— 26



3 みんなで話し合ってみましょう

28



4 一人ひとりの災害に対する備えと行動

30



5 地域の防災メモ

32

兵庫県内で防災のことが学習できる施設 —— 34

1 いざというときのために

1. 阪神・淡路大震災から学んだこと

先の阪神・淡路大震災では、同時に多発する火災をはじめ、電話・電気・水道などのライフラインの途絶や道路・橋梁の損壊などあまりにも多くの被害があり、公共の防災機関だけでは十分な消防防災活動を行うことはできませんでした。

しかし、そんなとき、住民の皆さんの連携によ

る消火や救助といった自主防災の活動により助けられた人も多く、ある調査によりますと、阪神・淡路大震災で生き埋めになった人のうち、自力で脱出した人、家族や隣近所に助けられた人は8割にも及ぶとされています。

2. 自分たちの身は自分たちでまもろう

この数字を見る限り、「いざというとき」は自分自身の安全は自分が守る、1人よりは家族で、家族よりは隣近所で助けあえばもっと効果があがります。

ボールやジャッキなどちょっとした道具があれば、隣近所での助け合いに大いに役立ちます。

また、そうした助け合う気持ちがあれば、避難所等での共同生活もスムーズに立ち上げることができるでしょう。

平素から、いざというときのために、みんなで心掛けておきましょう。

3. 自主防災活動の悩み

県内では、こうした自主防災組織が90%を超える地域で作られています。

しかし、自主防災組織の運営にはいろいろな悩みがあります。

- ・ 前任の役員から引き継いだが何をしたらよいかわからない。
- ・ バケツリレーばかりで訓練がマンネリ化している。

- ・ 地域内に熱心なリーダーがいない。
- ・ いざというときに頼りになる若者がいない。
- ・ 地域内の企業や団体と協力する方法がわからない。

そこで、そういった課題の解決に取り組んでいる特色ある自主防災組織の活動を次ページ以降で紹介します。

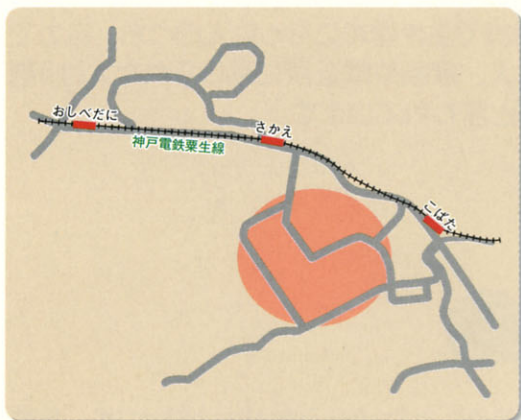


2 特色ある自主防災活動

1 地域の実情にあわせた実戦的な訓練・活動

防災避難体験会の実施

さくらがおか
桜ヶ丘防災福祉コミュニティ（神戸市西区）



地域の概要

神戸市の北西、神戸電鉄栄駅の南に位置する昭和50年代はじめに入居が始まった、周囲が緑豊かな山里に囲まれた郊外のニュータウンです。

活動の概要

当地域では、小学校区内の住民とのふれあいを基盤とした安全に係る取り組みなどが、行政に頼らず、地域住民みずからの手により熱心に行われています。その中で、地域住民が実際に小学校の体育館で泊まり込むことにより、大規模災害発生時の緊急避難に対応できるよう、「避難体験会」を実施しています。

また、地域で「安全マップ」を作る際には、小学校の児童も夏休みの課外活動として参加し、住民と児童が地域をブロックに分けて、昼夜にわた

り調査活動を実行し、まちをくまなく点検しました。その結果を持ち寄っての合同集約会を開催し、検討・発表会を行い、マップにまとめました。その「安全マップ」は全戸に配布しています。

さらに、訓練におけるテーマを定め、事前に防災福祉コミュニティに参加している各団体、組織ごとに、そのテーマでの取り組み方針を作成し、この方針に基づいて、各団体、組織で訓練を行った上で、全体の訓練会場に集合するとして防災訓練を実施しています。

防災避難体験会（第2回）

日 時	平成14年9月15日(日) 夕方～翌16日(月) 朝
場 所	神戸市立桜が丘小学校 体育館
主 催	桜が丘ふれあいのまちづくり協議会 桜が丘防災福祉コミュニティ 神戸市立桜が丘小学校
共 催	西消防署、西消防団押部谷支団
参加者	地域住民約100名（子供含む 食料、毛布持参）
内 容	救急搬送の方法、傷の手当て、心肺蘇生法の実習 防災クイズ、映画鑑賞等



救急搬送訓練

活動の効果・展望等

防災避難体験会では、参加者が食料、毛布を持参し、救急搬送や心肺蘇生法の実習、防災クイズ、映画鑑賞など楽しみながら防災訓練がで

きました。参加者は、今までにない経験が得られ、防災意識の向上が図られました。



地域住民自ら指導する心肺蘇生法の実習

防災一口 メモ

マグニチュード と 震度

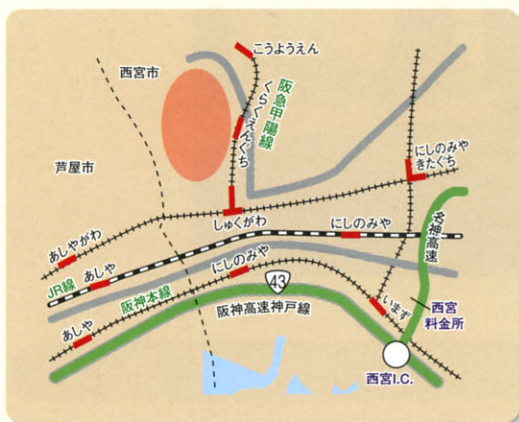
地震のエネルギーの大きさをマグニチュードといい、それぞれの場所での揺れの強さを震度といいます。同じワット数の電球でも距離が遠くなればなるほど明るさが徐々に弱くなるように、一般にはマグニチュードが大きくても震源が遠い場合や深い場合は震度が小さくなります。





震災時の経験を生かして

こしきいわ
越木岩自主防災会（西宮市）



地域の概要

西宮市の南部地域で地形の大半は傾斜地であり、越木岩神社を中心として北と東は夙川、南は久出川、西は芦屋市と苦楽園に挟まれた所に位置し、夙川小学校、北夙川小学校、苦楽園小学校の三校区にまたがる地域です。

活動の概要



越木岩防災の日に行われた救護訓練

当防災会は、越木岩地区住民が阪神・淡路大震災を機に運営母体として越木岩災害対策委員会を発足し、平成8年1月20日越木岩防災の日に「越木岩自主防災会」として正式に結成されたものです。

防災会の組織は、情報部・消火部・避難誘導部・救護部・給食部・施設部・給水部・機動部で編成され、比較的若い人を中心とした青年会

が機動部を担当しているのも越木岩独自の形態で特徴となっています。

全体的な企画調整については事務局が担当し、毎年度の事業計画を立て、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ「わすれないあの日を そなえよう越木岩」をスローガンに掲げ、毎月1回各役員による常任幹事会を開催、地域の自主防災のあり方、組織の活性化を検討し、町ごとの



各種訓練などを具体的に実践し、多くの住民が自主的に防災活動へ参加できるよう地道な努力を行っています。

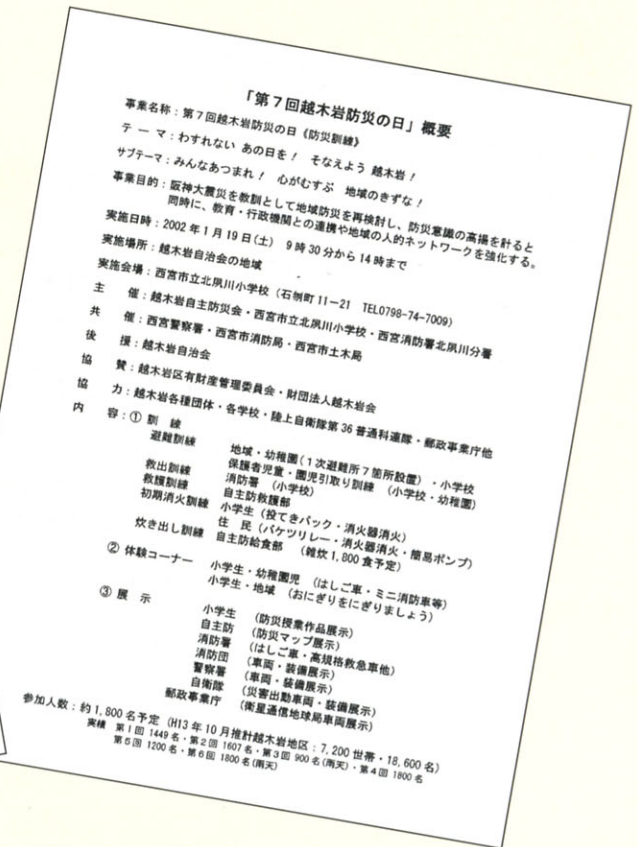
防災会では、住民の安全対策として、防災マップ制作委員会を設置し越木岩地区の防災マップを作成しました。これは、小学校との連携を図りながら、より日常的で身近なものとして、有効かつ便利に活用できるよう日々防災上のソフト面での対応にも努力を注いでいます。

年間の定例化した活動内容については、すべて防災を基盤とした考えに立って、結成当初か

ら事業計画に沿って実施しており、1月は越木岩防災の日に伴う防災訓練に始まり、8月はサマーフェスティバルイン越木岩、10月は自主防災主催体育祭、町別防災の集い、11月は秋の火災予防運動の一環としての防火パレード等、各種多彩な行事を行うとともに、県・市・消防局の各行政機関が主催する防災講演会、総合防災訓練、防災施設見学、救急講習会等、あらゆる機会をとらえ多数の住民が参加することで防災意識が高まることを願って各種団体が協力、一丸となって取り組んでいます。



「越木岩防災の日」のポスター



「越木岩防災の日」の訓練等概要

活動の効果・展望等

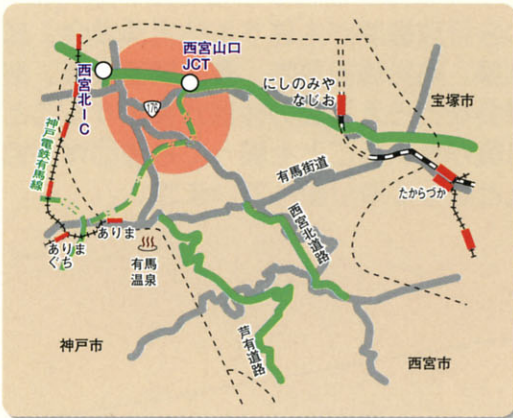
「越木岩防災の日」やサマーフェスティバルを行うことにより、自主防災組織と各種団体の連携や地域住民の協力、交流が拡がり、住民が

それぞれの役割分担を確認し、信頼感を高めることによって、地域一体となった防災活動に積極的に取り組んでいます。



発災対応型防災訓練の実施

やまぐち
山口町自治会連合会防災会（西宮市）



地域の概要

西宮市の北部に位置し、六甲北麓の緑に恵まれた地域です。中国自動車道の西宮北インターチェンジがあり、市北部の玄関口ともなっています。

活動の概要

当防災会は、山口町名来、下山口、上山口、中野、金仙寺、船坂の6自治会の連合自治会として結成され、防災会と消防分団が連動して活動しており、消防団が防災会の育成指導のリーダー的役割を果たし、消火器取扱や消火栓を使用した放水訓練を実施しています。

また、各自治会にはコミュニティセンターとしての公会堂がそれぞれあり、各種集会や毎月

防災定例会を開催し防災意識の高揚に努め、各種防災訓練を繰り返し行っています。

さらに、毎年1回、連合で避難訓練を含む総合防災訓練を実施しています。

平成14年1月には中野地区、2月には下山口地区の全域を訓練会場とした、発災対応型防災訓練(*)を実施しました。

発災対応型防災訓練

想 定	平成14年2月24日午前10時30分に、兵庫県南西部に地震が発生し、西宮市山口町下山口地区において、家屋の倒壊・火災の発生・多数の負傷者が生じるなど、甚大な被害が発生したとの想定で、訓練を実施
実施場所	下山口会館 他下山口地区全域
対象者	地域住民300世帯
内 容	情報伝達訓練、初期消火訓練、救出・救助訓練、応急救護訓練、避難・誘導訓練、災害対策本部での対応訓練

* 発災対応型防災訓練：実際に災害が発生したとの想定に基づいて行う各種訓練。災害に対して臨機応変な対応を体験する。



活動の効果・展望等

この訓練は、震災を想定し、玄関から一步出ると、同時多発的に火災や救出救助等の災害現場があり、地域住民がこれに対応して、それぞれの現場で消火、救出、救護、応急処置等の訓練を実施し、その後公民館に避難するという実践しながらの訓練を行ったもので、住民の約5割(350人)が参加、大きな成果を収めました。

救出者の応急処置及び搬送訓練



訓練地図



庭先での消火訓練

2 特色ある自主防災活動

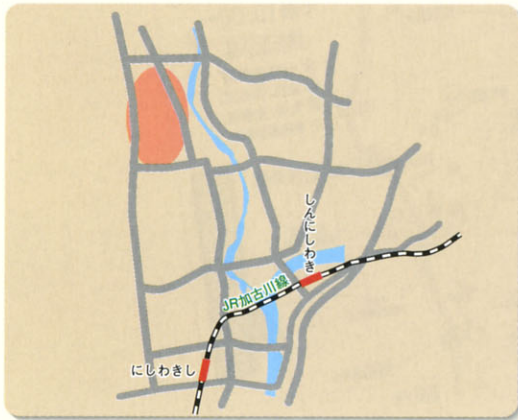
類似事例

震災対応型防災訓練 (西宮市・鳴尾東連合自主防災会)
 震災対応型防災訓練 (西宮市・鳴尾校区八町会防災会)



心肺蘇生法の普及

こうだい
高田井町自主防災会（西脇市）



地域の概要

日本のへそといわれる西脇市の市街化区域の一角を占め、町東部は工業地域と準工業地域であり、町西部は区画整理事業の再開発が進む準工業地域です。

活動の概要

地域住民の防災意識を高めるため、年1回の自主防災訓練を実施しています。その内容としては、消火器による実習訓練、心肺蘇生法の講演・実技、参加者を被災者に見立てて食料等の配布を行う給食給水訓練、自宅周辺の消火栓や貯水槽の確認を行う水利確認訓練などを総合的に行っています。とりわけ、心肺蘇生法の訓練には力を入れており、普段から心肺蘇生の技術

を身につけることで、「命の大切さ」の認識を高めるとともに、いざという時に、住民が助け合うことができるような活動にしています。

また、梅雨や台風シーズンに向けて、パンフレットによる防災意識の普及活動をしたり、定期的に防災資機材の整備点検を行うことにより、住民の意識啓発を図っています。



心肺蘇生法の実習



活動の効果・展望等

心肺蘇生法を普及することにより、住民それぞれに「命の大切さ」の認識が芽生え、防災活動にも積極的に取り組んでいます。

また、地域の中学校でも「命の教育」として、心肺蘇生法が実施されるようになりました。



心肺蘇生法の実習



消火器の実習訓練

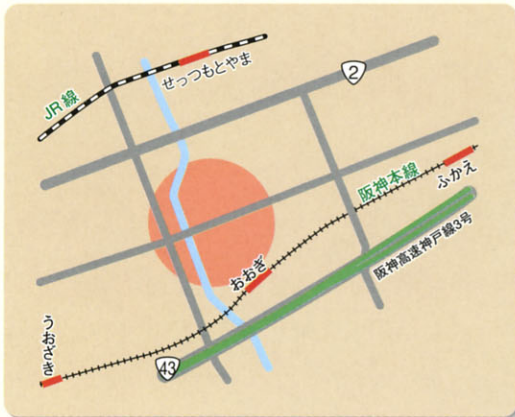


心肺蘇生法講習会（講師は冨原均医師）

2 幅広い世代の活動参画の取り組み

若い世代から高齢者層までの防災意識向上の取り組み

ふくいけ
福池小学校区防災福祉コミュニティ（神戸市東灘区）



地域の概要

神戸市の東部にあり、国道2号と阪神電鉄に挟まれた神戸の下町です。

さきの阪神・淡路大震災では、大きな被害がありました。復興に向けて立ち上がり、より魅力的なまちへとよみがえています。

活動の概要

地域では少年野球が盛んに行われており、春、夏、秋と年3回の大会があり、その際には、選手、保護者、来賓等が集まるので、その機会に防災に関する知識と防火についての普及を行っています。

実際の防災活動の実働部隊となるのは、高齢者ではなく若い世代であることから、少年野球

のメンバーの保護者(30代)に積極的に参加を促しています。

この世代の人達のコミュニティでの活躍に期待しており、老人会事業にも積極的に参加し、年数回のゲートボール大会では、高齢者層だけでなく、若い世代もいっしょになって、防災講習とゲートボールをあわせた大会としています。



少年野球チームによる家具等の下敷きになった人に対する救助訓練



福池小学校における避難訓練

活動の効果・展望等

自治会、財産区管理会、老人会、少年野球チーム、ゲートボールクラブなど多くのサークルやコミュニティ活動を盛んに行っています。各団体等の協力もあり、それぞれの活動の中で、若年層から高齢者層まで各層に防災意識を少し

ずつ浸透させることに成功しています。

また、若い世代をコミュニティに積極的に取り込むことにより、活力ある地域活動に取り組んでいます。



出初め式において、バケツリレーを行う少年野球チーム

防災一口メモ

火災の原因 こんなことも

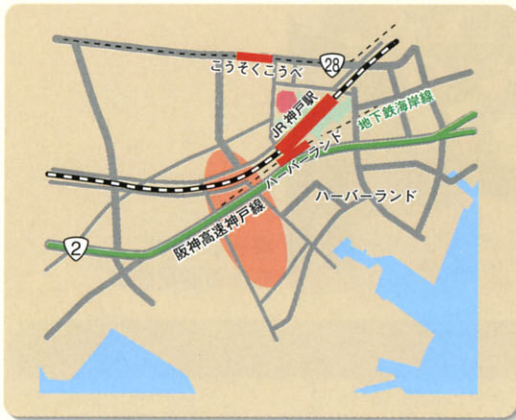
- ・白熱電灯
(電灯に接触した衣類やカーテンが過熱して出火)
- ・ネズミ
(ガスコンロのゴム管や電気コードをかじって出火)
- ・ペットボトルや金魚鉢の水
(レンズ代わりになって出火)
- ・コンセント
(プラグを差したままのコンセントにほこりがたまり出火)





防災ジュニアチームの結成

ひがしかわさき
東川崎ふれあいのまちづくり協議会防災部会（神戸市中央区）



地域の概要

JR神戸駅の南側、大規模なショッピングモールなど集客施設が集まる神戸ハーバーランドの西隣に位置し、住宅と町工場が混在する木造家屋密集地域です。

活動の概要

地域の防災活動に若手の参加が少ないので、担い手の高齢化が否めませんでした。それで、新たな力を導入するため地区中学生による防災ジュニアチームを結成しました。

最初は興味の薄かった彼らも、防災訓練や市民救命士の資格を取るための講習を受けるうちに次第に真剣となり、現在、毎月1回、学校や消防署の支援を受け、防災訓練を実施しています。



平成13年度防災ジュニアチーム結成式

防災ジュニアチームの年間活動状況

6月 任命式

7月 可搬式動力ポンプ取扱訓練

8月 消火器取扱訓練・ロープ取扱訓練

9月 市民救命士講習会

10月 クリーン作戦・防災パトロール

11月 特殊災害講習会

12月 福祉体験

1月 管制室見学

2月 てんぷら油火災燃焼実験

3月 消防艇の体験乗船・終了式



活動の効果・展望等

地域の担い手の高齢化は否めないところですが、この問題を解決するために若者だけの組織をつくり、若者が参加しやすいような受け皿としたことが、成功の秘訣です。

また、防災訓練は、大人も共に行いますが、ジュニアチームの訓練の時は大人は口出しせず見守るようにしています。

中学生がジュニアチームに加入したくなる知恵・工夫

1. 押し付けではうまくいかないで、子供の意志を尊重する
2. 先輩の模範演技を見せて、メンバーになりたいと思わせる
3. 訓練の時に間違っても、大人が口を出したり、手伝ったりしない
4. 訓練は子供が優先、大人は後で

地域に新たな若い力を導入したことによって、地域全体の防災活動への取り組みを盛り上げています。

今後、さらに幅広い住民の参加を呼びかけ、

地域のつながりの大切さを認識し、地域の防災意識の高揚、地域活動への取り組みが期待できます。



防災ジュニアチーム可搬式動力ポンプ取扱訓練

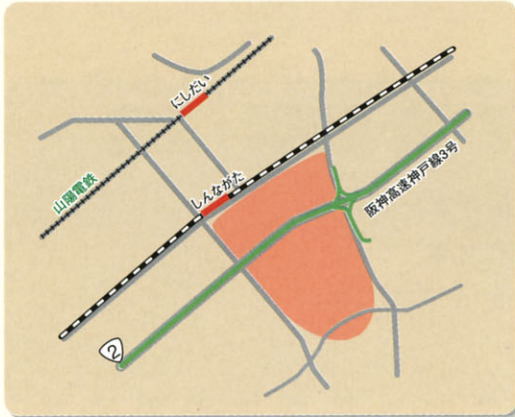
類似事例

ひよどり台防災ジュニアチーム (神戸市・ひよどり台防災福祉コミュニティ)
須磨北中ジュニア防災部 (神戸市・若草小学校区防災福祉コミュニティ)
井吹台防災ジュニアチーム (神戸市・井吹西防災福祉コミュニティ)
(井吹東ふれあいのまちづくり協議会防災防犯部会)



共立(ともだち)ネットワークの設立

しんよう
真陽地区防災福祉コミュニティ (神戸市長田区)



地域の概要

JR新長田駅の南東側にあり、丸五市場などの商店街、ケミカルシューズや工作機械類の町工場、住宅が立ち並び下町風情たっぷりの地域です。

活動の概要

下町の良さが今も残る真陽地区は、結成当初から活発な活動や地域づくりを展開する一方で、若い担い手を育成するために「真陽共立(ともだち)ネットワーク」を設立し、普段から世代間の交流を図ることにより、災害にも備えたまちづくりをめざしています。「自分たちのまちは、自分たちで守る」という基本理念に基づき、定期的に小型動力ポンプを使った消火訓練などの防災訓練を実施して、災害時の迅速・確実な活動に備えています。また、毎年、共立(ともだち)ネットワークの若者たちの運営で、盆踊り、屋台、イベント等を行う真陽フェスティバルを開催し、地域住民同士のふれあいを深めるなど、住民が自主的に防災活動や福祉活動に取り組んでいます。



消火器取扱訓練

真陽共立(ともだち)ネットワーク

この組織は、地域の福祉活動・防災活動に取り組む「真陽ふれあいのまちづくり協議会」の仲間を増やし、若い担い手を育てようという目的で、平成8年に発足しました。どの団体にも属さない、若い人たち(以前、こども会やPTAなどに入っていた人たち)が中心に地域活動に参加しています。



活動の効果・展望等

自治会・老人クラブ・婦人会・民生児童委員・保護司会・PTA・消防団・商店街・丸五市場事業協同組合・共立ネットワーク・各種ボランティア・小学校・病院等…が互いに連携を

取り合い、情報の共有化につとめ、広い分野の住民の要請に応じられる体制を整えているのが特色です。

真陽フェスティバル

この催しは、地域に根ざしたお祭りで、毎年神戸まつりの一環として開催され（平成14年は5月19日）、毎回数千人が参加しています。

地域の住民だけでなく、事業者（市場等商店、病院）、学校（小、中、高校）、交流している市外のまち（長野県飯田市）の小学生など、様々な人たちの参加により盛大に行われています。

同防災福祉コミュニティは、住民同士の連携で地域防災力の強化や地域のふれあいを深めるため、定期的に訓練や防災講習会などを開催しています。

これらは、震災で得た教訓である「助け合いの大切さ」をもとに災害時の救援活動を実施し、市内の模範的な防災福祉コミュニティとなっています。



救護搬送訓練

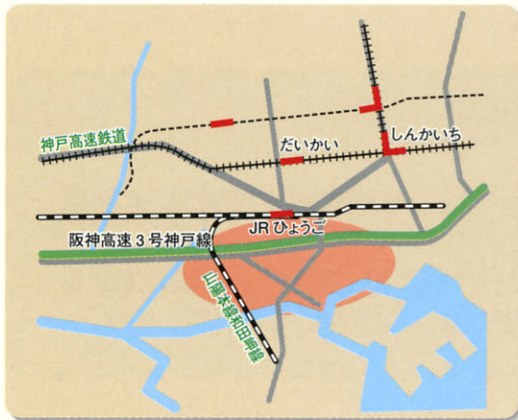


真陽フェスティバル

3 地域の中のいろいろな団体との協力

地域と学校、事業所が一体となった防災学習の実践

めいしん
明親校区防災福祉コミュニティ（神戸市兵庫区）



地域の概要

JR兵庫駅の南側にあり、港に近く、大規模事業所も多く立ち並ぶ神戸発祥の地といわれる神戸の下町です。

阪神・淡路大震災後、駅南の貨物駅跡地や、被災した工場跡地に復興住宅ができ、昔からの住民と新しく移り住んできた住民や事業所が混在する地域です。

活動の概要

震災時の体験を生かし、地域内の事業所と「大規模災害時の応援協定」を締結するなど、地域と事業所が一体となって防災活動を進めています。さらには、地域の中学校と話し合い、1年生全員に総合学習の一環として防災教育を取り入れ、地域・事業所が協力して防火訓練を指導し、心肺蘇生法・三角巾使用による救急救

助法の受講を義務づけ、全員が「市民救命士」の資格を取得し、3年後には全校生徒が取得しました。

その資格を活用し、これらの中学生たちは、地域の防災訓練には地域住民の一員として参加し、地域コミュニティ自らの技術の向上と意識の高揚に役立っています。

中学生が消防放水活動を体験

明親校区防災福祉コミュニティ及び消防団員等が、神戸市立須佐野中学校の1年生に防火・防災への関心と興味を持ってもらい、災害が発生したときに適切な対応・処置ができるよう体験学習を開催するとともに、地域とのふれあいの輪を広げ、子供たちの健全な育成にも寄与しようとするものです。

- (訓練内容)
- ・中学生に対して消防団が指導する消火器取扱訓練
 - ・中学生と地域住民のバケツリレーによる消火訓練
 - ・地域住民・消防団・協力事業所の指導による小型動力ポンプ放水訓練（プール清掃前の水を利用）
- (参加団体)
- ・須佐野中学校1年生・兵庫消防署・兵庫消防団第5分団・兵庫区役所
 - ・明親校区防災福祉コミュニティ・入江地区防災福祉コミュニティ
 - ・協定を締結した地元事業所（ポンプ車持ち込み）
- (場 所)
- 神戸市立須佐野中学校



消火器取扱訓練



バケツリレー



放水訓練

活動の効果・展望等

須佐野中学校の生徒が地域コミュニティの一員として参加することにより、保護者も防災福祉活動に興味を持ち、訓練等を通じお年寄りと中学生の融和も図られるなど、子供たちが参加することにより「防災・福祉・コミュニティ」

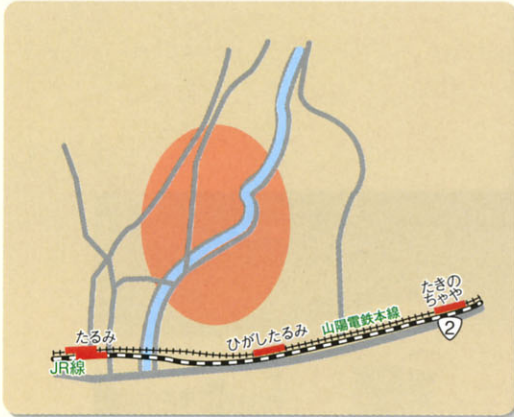
の三つの効果が得られました。

今後これらの中学生が大人になったとき、地域の一員として定着していくことが期待されています。



幅広い地域活動への取り組み

たかまる
高丸地域防災福祉コミュニティ（神戸市垂水区）



地域の概要

JR垂水駅の北東に位置し、昭和30年代前半から開発された戸建住宅の多い住宅地域です。

活動の概要

高丸地域防災福祉コミュニティと婦人会を母体としたNPO法人「輝（かがやき）たかまる」などの団体が中心となって、様々な活動に取り組んでいます。例えば、介護保険制度に対応したホームヘルパー養成事業や一人暮らしの高齢者を対象とした「ふれあい給食」などの福祉活動、事業者も含め地域が一体となって実施する防災訓練、花いっぱい運動やイベント活動などの取り組みがあります。



119番通報訓練

NPO法人「輝（かがやき）たかまる」

平成12年3月認証を受ける

活力ある地域社会を目指して、高齢者の方々の生活向上の支援、環境の整備、子供の健全育成などの事業を行い、誰でもが住みよいまちづくりに寄与することを目的とする法人です。

NPO法人になってからは、地域活動に事業として取り組めるようになり、その結果、人材や資金について協力を得やすくなっています。



防災訓練を取り入れたイベント

毎年1回秋に行われている高丸ふれあい運動会は、小学生から、中・高生、地域のお年寄りなど地域ぐるみで参加して、楽しみながら防災に役立つプログラムを進めています。

- ・バケツリレー（防災資機材を活用して）
- ・一輪荷車競争（防災資機材を活用して）
- ・防災クイズ
- ・いざというときに役立つけがの手当て法 など

昼食時には、消防署の協力により、はしご車に子供たちを順番に乗せるなど実際の消防機材にふれてもらっています。



一輪荷車を使った競争



けがの手当て法

活動の効果・展望等

地域全体は範囲が広いので、まとめるのが大変ですが、婦人会を母体に地区分けをし、それぞれ救護班長、連絡班長、誘導班長や防災部長、広報部長といった役割分担をしています。

また、地域のイベント活動が活発ですので、その活動を通じて、大人から子供までの地域交流、住民と事業者の交流が図られています。



地元事業所との連携

西宮市消防協力隊（西宮市）



地域の概要

阪神地域の中間に位置していることから、鉄道網、道路網が整備されており、交通の便がよく、多くの事業所があります。

活動の概要

大規模災害時の活動は、災害発生初期の対応が特に重要であり、専門的な知識・技術を有する人員が必要です。

このことから、消火、救急、救助活動等に精通した自衛消防隊(*)の活動範囲を事業所内だけでなく周辺地域まで広げ、地域の防災活動の一翼を担ってもらうこととしました。

そこで、市内各事業所が所有している可搬式消防ポンプや大型消火器、救助・救急資材を活用し、地震などの大災害が発生したとき、地域の自主防災組織等と連携して、事業所周辺地域の消火、救急、救助を行うために、事業所の自衛消防隊で「西宮市消防協力隊」を結成しました。

西宮市消防協力隊の概要

- | | |
|----------|---|
| ① 構成団体 | 自衛消防隊を組織する事業所とする |
| ② 登録期間 | 原則2年間とする（異議がない限り継続） |
| ③ 活動内容 | 台風・地震・同時多発火災等の大規模災害、航空機事故及び列車事故等の集団救急・救助事故、その他必要と認めた災害活動とする |
| ④ 活動範囲 | 事業所が所在する小学校区とする |
| ⑤ 身分 | 市長から委嘱状を交付する |
| ⑥ 出動要請 | 活動内容・場所等の明示を原則とする（災害規模等により要請を待たずに出動した場合は、要請があったものとする） |
| ⑦ 資機材の補填 | 事業所が現有する資機材を災害活動時に使用した場合、消耗品、燃料費及び修理費は市の負担とする |
| ⑧ 活動時の補償 | 西宮市消防団員等公務災害補償条例に基づき手続きを行うこととする |

* 自衛消防隊：事業所等で防火その他防災のために設けられている企業内部の自衛組織



市総合防災訓練における
消防協力隊の救助訓練

活動の効果・展望等

消防協力隊は事業所の敷地外活動を行うことから、消火栓に接続する金具、消火栓開閉器、水利地図をそれぞれの事業所に貸与し、所管消防署とこれらの訓練を実施することにより、従来に増して事業所の防災意識の高揚と所管消防署や自主防災組織等との連携強化が図られました。また、市長から西宮市消防協力隊として委嘱

されて以来、訓練に対する認識が高まり、自社の訓練はもとより、近隣地域の自主防災会との訓練や市主催の総合防災訓練にも積極的に参加しており、地域と一体となった活動が期待されています。

平成 14 年 5 月現在 16 隊が結成されています。



西宮市消防協力隊旗

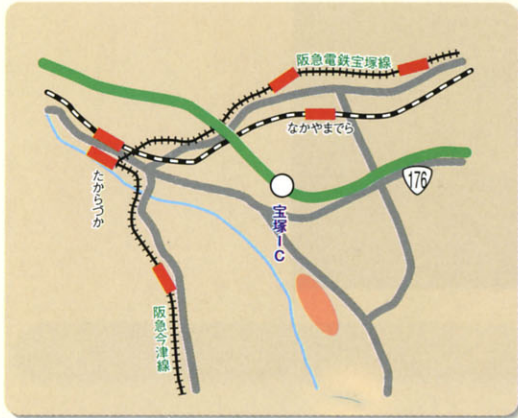


自衛消防隊操法大会



防災相互応援協定の締結

あくら
安倉地区福祉エリア（宝塚市）



地域の概要

宝塚市街地の中央部に位置し、老人施設や知的障害者等の入・通所施設が南北約 200 m にわたって立ち並ぶという他都市にはあまり例がなく、行政も福祉エリアと称する福祉施設の集合地域です。

活動の概要

災害に強いまちづくりを推進するため、自主防災組織の結成と地域内における災害弱者等の安全環境整備の一環として、六つの福祉施設と二つの自治会（共同住宅）との間で各施設相互の応援協定を締結しました。

具体的な活動は、火災又は震災等の災害が発生した場合、各施設は自己施設の入所者の安全確認を行った後、初期活動等において相互に応援するとともに、近隣自治会においても応援者を派遣し、被災者の避難誘導や救出救護活動を各施設と協力して行い、被害の軽減と被災者の安全確保等を行います。

特に夜間における対応としては、入所施設は災害発生の際の応援要請の連絡を行うとともに、自己施設を避難場所として一時開放するなど防災の拠点としても位置づけられています。

当協定では、近隣自治会から福祉施設への支援だけに止まらず、自治会内で発生した災害により、生活を営むことが困難となった自治会員の一時避難場所として、福祉施設を開放するといった支援についても取り決められています。



応援協定対象エリア



安倉地区防災訓練

活動の効果・展望等

六つの福祉施設と二つの自治会（共同住宅）との協定を締結する上で、施設の使用形態や管理形態が異なる中で、施設の管理面などに調整を要し、意思統一を図る必要がありました。

しかし、震災を経験したこともあり、関係者の賛同も得られやすかったこと、福祉施設の関係者が自治会の居住者であったり、自治会の中にも施設への通所者がいたことなど、協定締結に向けての精神的な垣根を取り外す必要もなく、地域での共生意識が更に深まっています。

市内における福祉施設の夜間の防災管理状況の大半は、通所施設の場合は機械管理、宿泊を

伴う入所施設では最小の当直員による人的管理が一般的であり、ひとたび災害が発生した際には、初期対応の失敗により、災害弱者の安全確保が困難を極めるケースを想定しておくことが必要です。

他の施設においてもこれらと同様の応援協定なるものが締結され、近隣住民等の協力が得られれば、避難者の誘導・補助・介護等安全確保において有効であることは言うまでもなく、同種の施設における防火体制のモデルとなるよう充実を図っていく必要があります。

防災一口メモ

台風についての 注意点

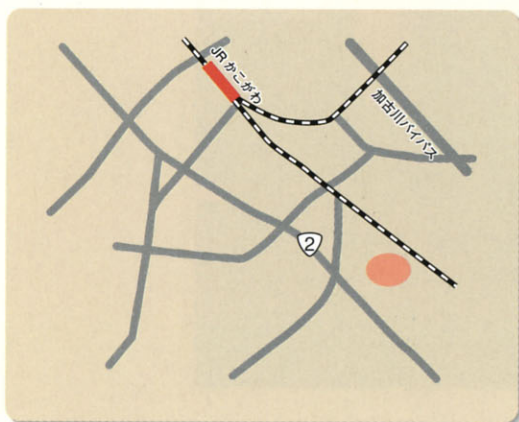
- ・ 台風の進路予測は 72 時間先まで発表されているので、最新情報を利用して早めに補強、避難の用意を
- ・ 台風が住む家より西方を北よりに進むときは、より強風や大雨に対する備えが必至、特に海岸付近は高潮に注意
- ・ 台風が近くを通るときは、どんな小さな台風でもあなどらない





マンションにおける活動

加古川グリーンシティ防災会（加古川市）



地域の概要

JR加古川駅の南東の閑静な住宅地に位置するマンション（計7棟、584戸）で構成されています。

活動の概要

防災訓練や心肺蘇生法など救急法の講習会の開催はもちろんのこと、防災マップや町内チャンピオンマップを作成、全戸に配布したこと

や、マンションの広報誌である「グリーンだより」に毎月防災についての啓発記事を掲載するなど普及活動に取り組んでいます。

町内チャンピオンマップ

災害時などに自分の持つ資格や特技を生かし、救出活動に取り組むための住民の登録制度。現役・元看護師、水質検査士、自動車整備士、建築士、昇降機検査士、電気工事士、危険物取扱者、重機を扱える人など。

グリーンシティあんしん情報登録制度

事故や病気で倒れたとき身元や連絡を知らせる携帯の「あんしんカード」を作成し、いざという場面では、マンションの管理事務所に連絡が入り、家族らのサポートにあたることになっています。

カード見本 （カード実物は、免許証サイズです。）

あんしんカード 年 月作成		
氏名	山田 太郎 男・女	
生年月日	昭和21年 5月 5日	
住所	加古川市加古川町平野24-1 加古川グリーンシティ〇棟〇〇〇〇号室	
電話	***-**** FAX ***-****	
現在治療中の病気		
かかりつけ医療機関	電話	

氏名	☎	続柄
氏名	☎	続柄
氏名	☎	続柄
共通連絡先	☎	続柄
避難所	災害時に避難する場所が記入されます。	
備考		

加古川グリーンシティ防災会 ☎ XXXX-XX-XXXX



活動の効果・展望等

一般的に大規模マンションの活動は疎遠になりがちですが、先の阪神・淡路大震災の教訓を生かして、地域住民が総力を挙げて救出活動などに取り組める体制づくりや災害に対する未先の防止活動を行える協力体制づくりを構築し、マンション全体の防災意識が高揚しています。

加古川グリーンシティ防災マップ (表紙、目次)



2 特色ある自主防災活動

グリーンだより

2002年(平成14年) 9月 9日

第14号(9月) 第13号(8月) 発行所: 加古川グリーンシティ・管理組合 発行: 加古川グリーンシティ・管理組合 発行日: 2002年9月9日 発行部数: 250部

新理事抽選結果のお知らせ

9月2日(日)の抽選結果は以下の通りです。抽選結果を公表させていただきます。抽選結果は以下の通りです。抽選結果を公表させていただきます。

ゴミ出しのルールを守りましょう

9月2日(日)のゴミ出しは、お天気に合わせて行ってください。ゴミ出しのルールを守りましょう。

日	内容	担当
9(日)	防災大会	管理組合
10(月)	防災大会	管理組合
11(火)	防災大会	管理組合
12(水)	防災大会	管理組合
13(木)	防災大会	管理組合
14(金)	防災大会	管理組合
15(土)	防災大会	管理組合
16(日)	防災大会	管理組合
17(月)	防災大会	管理組合
18(火)	防災大会	管理組合
19(水)	防災大会	管理組合
20(木)	防災大会	管理組合
21(金)	防災大会	管理組合
22(土)	防災大会	管理組合
23(日)	防災大会	管理組合
24(月)	防災大会	管理組合
25(火)	防災大会	管理組合
26(水)	防災大会	管理組合
27(木)	防災大会	管理組合
28(金)	防災大会	管理組合
29(土)	防災大会	管理組合
30(日)	防災大会	管理組合

10月の予定

日	内容	担当
1(日)	防災大会	管理組合
2(月)	防災大会	管理組合
3(水)	防災大会	管理組合
4(木)	防災大会	管理組合
5(金)	防災大会	管理組合
6(土)	防災大会	管理組合
7(日)	防災大会	管理組合
8(月)	防災大会	管理組合
9(火)	防災大会	管理組合
10(水)	防災大会	管理組合
11(木)	防災大会	管理組合
12(金)	防災大会	管理組合
13(土)	防災大会	管理組合
14(日)	防災大会	管理組合

町内会からのお知らせ

町内会からののお知らせ。町内会からののお知らせ。町内会からののお知らせ。

PTAからののお知らせ

PTAからののお知らせ。PTAからののお知らせ。PTAからののお知らせ。

地域少年団からののお知らせ

地域少年団からののお知らせ。地域少年団からののお知らせ。地域少年団からののお知らせ。

ごんりゅうがかりし

ごんりゅうがかりし。ごんりゅうがかりし。ごんりゅうがかりし。

自分だけ儲けるお金のゆで

自分だけ儲けるお金のゆで。自分だけ儲けるお金のゆで。自分だけ儲けるお金のゆで。

今月のクイズ

今月のクイズ。今月のクイズ。今月のクイズ。

編集後記

編集後記。編集後記。編集後記。



消防団との連携

自主防災おおかわち（大河内町）



地域の概要

姫路市から北方約30kmで兵庫県のほぼ中央部に位置します。

町全体の約90%が山林で、町役場を中心に集落が二つの谷に分かれ、20集落で構成された山間地域です。

活動の概要

平常時より災害の知識、災害時の心得などを啓発し、あわせて学習、訓練することにより、住民一人ひとりが災害に強くなることを目的として、平成10年に歴代の消防団長を軸に「自主防災おおかわち」という名称で、町全域をカバーする自主防災組織を結成しました。

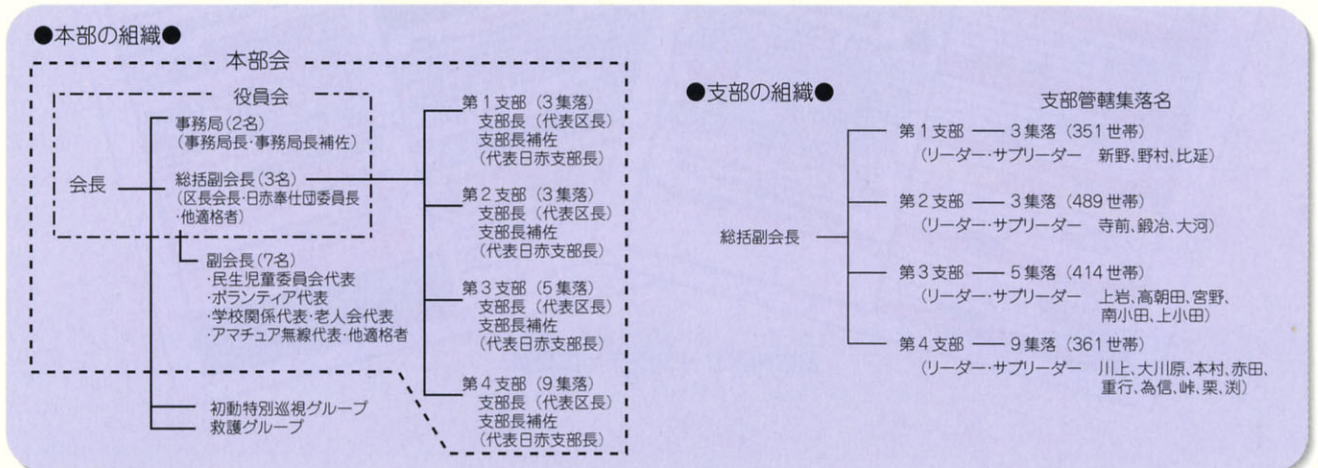
組織の体制は、本部及び四つの支部で構成され、集落間の共生及び危険箇所等を考慮し、1支部が300世帯以上になるようにしました。

町広報誌に「防災ミニ知識」を毎月提供、

「新聞折り込みチラシ」を機会あるごとに実施、9月1日（防災の日）、1月17日（防災とボランティアの日）に有線放送での普及活動、住民、小中学校児童生徒を対象に防災啓発標語の募集及び学校で使用するいす座布団を防災頭巾として使えるよう工夫する等の活動を行っています。

また、心肺蘇生、応急処置等の研修にも積極的に取り組んでいます。

自主防災組織

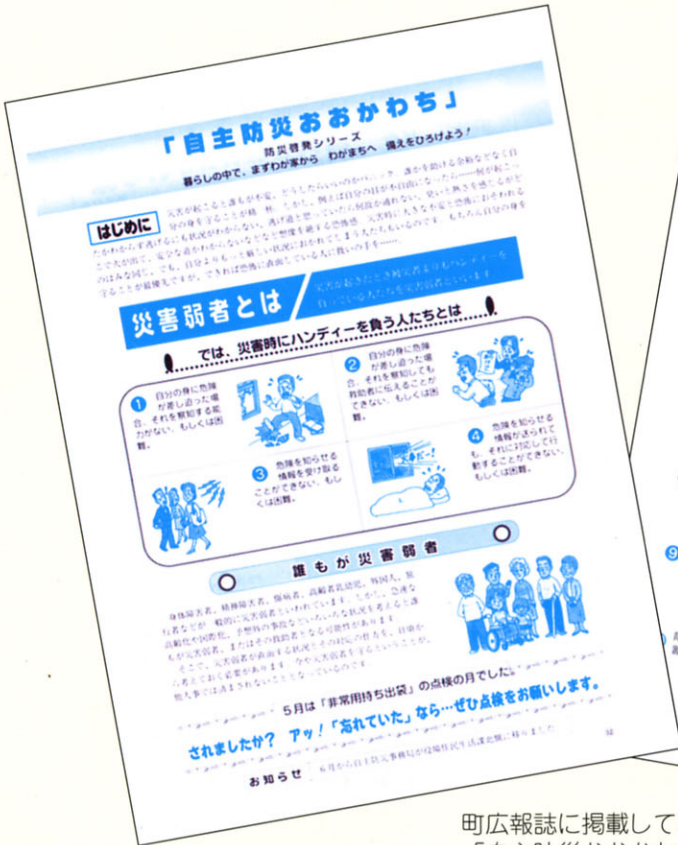




活動の効果・展望等

組織を本部・支部体制にしたことで、小集落においても活動ができています。また、設立当初、歴代消防団長が本部役員並びに各支部長になったので、運営がスムーズに進行しました。現在では、各種団体にも呼びかけ本部役員を委嘱し住民あがりの活躍ができるようになりました。

今後は、各支部での積極的な活動が重点目標になってきます。会員、住民の防災に対する意識は高まっていますが、消火器、消火栓訓練等の実施のみであるため、平成 14 年度から、災害時における活動体制を確立していくため、各支部（地区）単位で、ミニ防災訓練を実施し検証を行っています。



町広報誌に掲載している「自主防災おおかわち」の防災啓発記事

地震

1

あなたの身近で大地震が発生しました。

- あなたならまずどうしますか？
- 揺れが収まりました。まず何をしますか？
- 電話、携帯電話が通じない場合、家族への連絡はどうしますか？



避難時

近所の壊れた家の中から「誰か、助けてくれ」という声が聞こえてきました。

- その時あなたならどうしますか？
- 手元に道具がありません。どうしますか？

近所の家で火災が発生しました。

- その時あなたならどうしますか？
- 消火器が手元にありません。どうしますか？

地震で逃げるとき、近所に一人暮らしの寝たきり老人がいることに気がつきました。

- その時あなたならどうしますか？
- 日頃からどんなことを考えておいたらいいと思いますか？



避難所にペットを連れてきた人がいました。

- その時あなたならどうしますか？
- そのペットが大型犬の場合はどうですか？

避難所が満員の時に、新たに多くの人々が避難してきました。

- その時あなたならどうしますか？

避難所の温かい食料の配給が人数の半分しかありません。

- どうやって配分しますか？

避難所





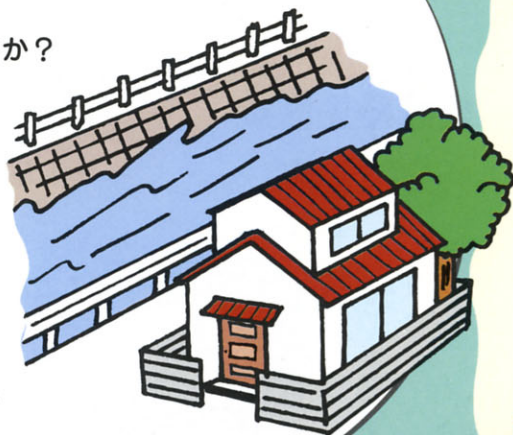
風 2 水 害

すぐそばを流れている川の上流で大雨が降りました。

- あなたならまずどうしますか？
- そのために必要なもの、必要なことは何ですか？

近くの急傾斜地で土砂崩れが起ころうです。

- あなたならまずどうしますか？
- そのために必要なもの、必要なことは何ですか？



3 みんなで話し合ってみよう

3 日 常

路上で倒れている人を発見しました。

- その時あなたならどうしますか？
- その人が呼吸停止の状態だったらどうですか？
- 平常時から何をしておく必要がありますか？



地域で防災イベントを企画したいと思います。

- イベントを成功させるためのポイントは何ですか？
- そのために必要なことは何ですか？
- 参加者はどうやって集めますか？

4 一人ひとりの災害に対する備えと行動

地震発生直後

あわてて外へ
飛び出さない。

布団で頭を保護し、
机の下などで
身を守る。

火元の始末を
確認する。

くつ又は
スリッパをはく。



家に避難先、
安否情報の
メモを残す。

家族の安全を
確認する。

揺れが
おさまった後

災害用伝言
ダイヤル
「171」*
を利用する。

避難は狭い道、
へいやがけ、
川のそば
を避ける。

安全な服装で、
歩いて避難する。

* 33 頁に利用方法を
掲載しています



津波から逃れるために

- ・ 海岸、川から離れて、より高いところへ
- ・ 津波は何度も繰り返しやってくる
- ・ 1波より2波の方が大きくなることもある
- ・ 車はやめて歩いて避難
- ・ 警報や注意報が解除されるまで海辺に近づかない
- ・ 津波見物は禁物
- ・ 日頃から避難経路のチェックを



初期消火の3原則

1 早く知らせる

- ・「火事だ」と大声を出し、隣近所に助けを求める。声が出なければ、やかんなどを叩き異変を知らせる。
- ・小さな火でも119番に通報する。当事者は消火にあたり、近くの人に通報を頼む。

2 早く消火する

- ・出火から3分以内が消火できる限度。
- ・水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で火をおおうなど、手近のものを活用する。

3 早く逃げる

- ・天井に火が燃え移ったら、いさぎよく避難する。避難するときは、燃えている部屋の窓やドアをしめて空気を絶つ。

火事だー!!



(阪神区域の例)

	大雨注意報	大雨警報
1時間雨量	30mm以上	50mm以上
3時間雨量	70mm以上	100mm以上
24時間雨量	90mm以上	170mm以上

※どれかに該当すると予想されるときに発令される。
 ※基準は各区域により異なり、兵庫県は8区域に分類されている。
 (阪神・北播丹波・播磨南東部・播磨北西部・播磨南西部・淡路島・但馬北部・但馬南部)

避難の際には、
長靴よりも
運動靴をはく。

気象庁発表の
「注意報」「警報」
など正確な情報を
入手すること。

日頃から
水害時の避難先を
確認する。

浸水が
20cm になると
扉はあかない。

台風・水害

冠水場所では、
水面下の安全に
注意する。

増水による
マンホールの
蓋の飛びはね
に注意する。



5 地域の防災メモ

※いざというときのために、一度確認しておいてください。

自主防災組織の名称	
-----------	--

自主防災組織の代表者	住 所	
	氏 名	
	電話番号	

避 難 所	
-------	--

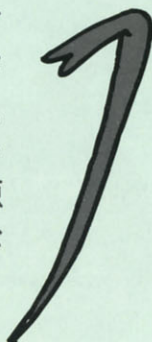
防災チェックリスト

区 分	点 検 項 目	チェック欄
暮らしに必要なこと	食料、飲料水（3日分）を備えている（有効期限に注意）	
	懐中電灯、携帯ラジオを近くに置いている（電池の点検も忘れずに）	
	救急医薬品を備えている（有効期限に注意）	
	非常時の持ち出し品をまとめている	
安全確保に必要なこと	家具などの転倒防止をしている	
	食器棚や窓のガラスに飛散防止をしている	
	棚やテレビなどの上に重量物や危険物を置いていない	
	通路付近に障害になりそうなものを置いていない	
	外壁、瓦が落ちたり、ブロック塀や石垣が崩れたりしないよう点検している	
火災の防止に必要なこと	風呂などに水をため、近くにバケツを用意している	
	台所付近に消火器を備えており、家族が誰でも使える	

身近な道具で災害の備えを

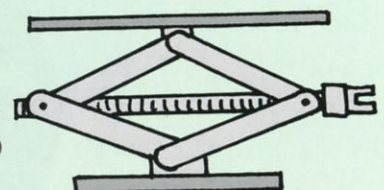
バール

Ｌ字型の釘抜きまたは金てこ。地震で崩壊した家に閉じこめられた人を救助するとき、これを使って壁や屋根をはがして壊します。てこの原理で、力の弱い人でも大きな力が出せます。



ジャッキ

タイヤ交換の道具として多くの自動車に備え付けられています。重いものの下敷きになった人を救助するため、隙間を広げたり重いものを持ち上げたりするのに使います。





いざというときの連絡先

区 分	名 称	電 話 番 号
消 防 署		119
警 察 署		110
電 力 会 社		
ガ ス 会 社		
水 道 事 業 所		
電 話 会 社		
保 健 所		
市 役 所 ・ 町 役 場		
そ の 他		
兵 庫 県	兵庫県災害対策センター	078-362-9898

119番通報は、あわてず、正確に!

● 落ち着いて、次の要領で通報してください。 ●

1
まず火災であることを伝える。

(例)
「火事です」

2
住所と氏名を伝える。

(例)
「〇〇町〇〇丁目
〇〇番地の〇〇です」

3
建物の種類は木造かビルか。

(例)
「自宅が燃えています。2階建て
の木造住宅です」

4
火災現場付近で目標となるものを伝える。

(例)
「目標は〇〇郵便局の
向かい側です」



災害用伝言ダイヤル「171」のかけ方

災害発生時(震度6弱以上の地震など)には、NTTの災害用伝言ダイヤルサービスが稼働します。事前契約などは一切不要ですから、家族や友人などが被災した場合の安否の確認や連絡などに活用できます。171番へダイヤルすると、音声案内が流れますから、それに従って伝言してください。



兵庫県内で防災のことが学習できる施設

名 称	所在地・電話	開演時間	休 館 日	施 設 概 要
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 (078-262-5050)	10:00～ 18:00	月曜、 年末年始	シアター、防災展示、震災展示、 防災ワークショップ、図書資料 室 等
兵庫県立防災科学館	神戸市北区山田町下谷上字 中一里山 15-13 (078-741-6533)	9:00～ 16:30	土曜、日曜、 祝日、 年末年始	地震体験、防災展示、震災展示、 防災Q&A、視聴覚室、研修・ 訓練実習室 等
神戸市民防災 総合センター	神戸市北区ひよどり北町 3丁目1 (078-743-3771)	9:30～ 16:00	土曜、日曜	防災展示、地震体験、消火訓練、 放水訓練、耐熱耐煙体験、避 難・救出訓練 等
神戸港震災 メモリアルパーク	神戸市中央区波止場町2-2 メリケンパーク内 (078-391-6751)	9:00～ 21:00	—	被災係留施設の保存展示、海上 回廊、震災・復興展示、ビデオ 上映 等
神戸海洋博物館	神戸市中央区波止場町2-2 メリケンパーク内 (078-391-6751)	10:00～ 17:00	月曜	神戸港の震災関連展示、地震の メカニズムの学習 等
神戸市立神出自然教育園（震災学習棟）	神戸市西区神出町田井 (078-965-0044)	9:00～ 17:00	土曜、日曜、 祝日	仮設住宅の保存、地震直後の被 災状況の再現、仮設住宅の暮ら しの再現 等
尼崎市防災センター	尼崎市昭和通2丁目6-75 (06-6481-0119)	9:00～ 17:15	土曜、日曜、 祝日、 年末年始	防災展示、地震体験、消火シミ ュレーション、防災クイズ、図書 資料室 等
加古川市防災センター	加古川市加古川町友沢 137-1 (0794-23-0119)	9:00～ 17:00	月曜、第3日曜、 祝日、 年末年始	防災展示、地震体験、消火体 験、煙避難体験、救急処置体 験、シアター 等
赤穂市防災センター	赤穂市加里屋 1120-120 (0791-43-6881)	9:00～ 17:00	月曜、 年末年始	防災展示、シアター、防災クイ ズ、煙避難体験、消火体験、放 水体験 等
加西市防災センター	加西市北条町東高室 993-1 (0790-42-0119)	8:30～ 17:15	土曜、日曜、 祝日	防災展示、放水訓練、救命処置 訓練、119番通報訓練、消火器 取扱訓練 等
三田市消防本部防災 展示コーナー	三田市下深田 396 (0795-64-0119)	9:30～ 17:00	土曜、日曜、 祝日、 年末年始	縦穴住居の火災跡遺構展示、防 災Q&A、地震発生システムと 活断層展示 等
山崎防災センター	宍粟郡山崎町鹿沢 65-3 (0790-63-2000)	8:30～ 22:00 <small>(展示体験学習の入館 受付は16:00まで)</small>	年末年始 <small>(展示体験学習は水曜)</small>	防災展示、地震体験、消火体験、 防災Q&A、災害弱者体験、シ アター 等
円山川防災センター	城崎郡日高町西芝字清水 (0796-43-2511)	9:00～ 16:30	水曜、土曜、 8/14～15、 年末年始	円山川の自然と水防の歩み・防 災事業・家庭防災の展示、研究 室 等
和田山町防災センター	朝来郡和田山町枚田 609 (0796-72-6010)	8:30～ 22:00	日曜、月曜、 祝日、 年末年始	防災展示、資機材展示、河川監 視カメラ映像の放映、研究室 等
北淡町震災記念公園 (野島断層保存館、 セミナーハウス)	津名郡北淡町小倉 177 (0799-82-3020)	9:00～ 17:00	水曜、 年末年始	野島断層の保存、活断層・地震 関係資料閲覧室、セミナールー ム 等

緊急連絡先

兵庫県災害対策センター

☎ 078(362)9898(直通)

この冊子の問い合わせ先

兵庫県企画管理部防災局消防課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1

☎ 078(341)7711(代)

内線 3431・3432

<http://web.pref.hyogo.jp/syoubou/>